

SEINAN Spirit

No. 234

西南学院大学
2025 Autumn

特集

これが私の 生きる道。



【決断ターニングポイント!】

新聞記者

【今、私は、】

就職課直属
学生団体Branch

【世界がキャンパス】

エトヴェシュ・
ロラード大学
[ハンガリー]

【MY ANSWER】

うわさ × ☐? ☐

【こんにちは先輩】

株式会社寺子屋ネット福岡

【開いてみよう! 知のトビラ】

産業組織論

「SEINAN Spirit」は
スマホでも読めます!



SEINAN Spirit

No. 234

2025 Autumn

2025年9月12日発行 季刊誌

編集／西南学院総合企画部広報課 〒814-8511 福岡市早良区西新6-2-92

〒809-2823 3-24-8

発行／西南学院大学



あの日、あの時がよみがえる。

Seinan Campus Memories in summer

#勝ちにこだわれ

流した汗の分だけ強くなる。
全ては勝利のために。

#春に待ってるよ

8月のオープンキャンパス、
未来の後輩たちの笑顔に
出合えました。

#このテストを乗り切れば

テスト前の緊張感と
夏休みを待つ高揚感が
交差する7月のキャンパス。

公式SNSをフォローして、西南学院大学の「今」を知ろう!

西南学院大学公式 SNS

皆さまからの「いいね!」をお待ちしております!

Facebook



X(旧Twitter)



YouTube



Instagram



西南学院Letterにご登録ください!

メルマガ「西南学院Letter」
は、西南学院のNEWSやイ
ベント情報などをおよそ2回
の頻度でお届けいたします。



ぜひご登録
ください!

Spiritを
読んでの

ご意見・ご感想をお寄せください!

皆さんの声を生かした誌面づくりを目指してい
きたく、QRコードよりご意見やご感想をお
寄せください。あなたの声が広報誌に反映
されるかも?!



西南学院大学

inspiring you

心と知を紡ぎ、世界へ

特集

これが私の 生きる道。

長くて短い4年間の学生生活。

その先には、自分だけの新たな道が続いています。

数え切れないほどの選択肢がある中で、何をきっかけに、どのタイミングで、

自分の「道」を決めていくのでしょうか。

今回は、4人の学生が決断した「私の生きる道」にクローズアップ。

彼らの選択が、あなたのこれからを考えるヒントになるかもしれません。



【特集】

これが私の生きる道。

p02



p11

【就活サブリ】

就活のノウハウが詰まった
就職課をフル活用しよう!

p09

【決断ターニングポイント!】

新聞記者

株式会社毎日新聞社 社会部
木原 真希さん



【世界がキャンパス】 p17

エトヴェシュ・ロラード
大学

【ハンガリー】

海外派遣
留学生

経済学部国際経済学科 3年 若松 真伸さん



p15

SEINAN NEWS

【今、私は、】 p13

キーワード

就職課直属
学生団体Branch

人間科学部心理学科 3年 中山 桃花さん



p21

【こんにちは先輩】

株式会社寺子屋ネット福岡

代表取締役 鳥羽 和久さん



【MY ANSWER】

p19

うわさ × 〇? □

商学部経営学科 丸山 正博 教授
法学部国際関係法学科 釜谷 真史 教授



p25

INFORMATION

【開いてみよう!知のトビラ】

p23

経済学部経済学科
加藤 浩 准教授

教授の研究テーマ 産業組織論

ゼミテーマ デジタル市場



#129

雲の柱 火の柱

『失敗から学ぶ』

5mのキャンパスに土管の絵を5カ月間描き進めてきた。パタリと筆が止まってしまった。さえない、何かが違う、描き方がいや、構図か?描きかけの絵を疑いの目で見る。こと3日。「手前の木が邪魔なのかも...」ひとしきり悩んだ後、大樹2本を塗りつぶすことにした。いろいろな資料を集め、模型まで作ってスケッチを繰り返し、細心の注意を払って最大の準備をして「これならいける」と挑んだにもかかわらず、大失敗。仕方がない。挑戦に失敗はつきもの、失敗から学べばいい。

ところで、失敗から学ぶ、と言うが、失敗なら何でも良いわけではない。準備不足による凡ミスは何回繰り返そうと得るものは無い。要は、いかに質の高い失敗を引き出せるかだ。失敗を大いに恐れて、できる限りの準備をした上での失敗には価値がある。弱点が露呈し、問題の本質が炙り出される。

暗中模索で成功を探す絵画制作において、質の高い失敗が姿を現してくれることは、実はありがたい。何をどうすれば良いのかさっぱり分からない中、とりあえず、今の自分にできることは、目の前に転がっている失敗をどうにかすることだけだったりする。が、それをしていくと、なんとなく成功の輪郭が見えてきたりする。なんとも創造の情動とは程遠い作業だが、私の芸術活動は大体こんなものだ。

広報委員長 黒木 重雄

これが私の 生きる道。

STORY 01

ごおやま ふうこ
遠山 楓呼 さん
経済学部国際経済学科 4年
熊本北高等学校出身

全てのの人に野球の面白さを届け、
明日を生きる活力を生み出す。

STEP 1

兄の影響で
小学校から
野球を始める。

9つ上の兄が野球をしていたことがきっかけで、少年野球のチームに入り、野球の楽しさに夢中になる。

STEP 2

中学1年生の時、
熊本地震に被災。
野球ができない辛さを経験。

中学校では野球部に入学したが、熊本地震の影響でグラウンドが避難所になり、活動停止に。野球ができない日々の中で、当たり前のように野球ができる環境のありがたさを実感。

STEP 3

復興支援の
野球プロジェクトに参加。
目標が芽生える。

東京で開催された復興支援の野球プロジェクトで、野球が人にエネルギーを与えるスポーツであることを体感。「野球を仕事にする」という人生の目標がはっきりと芽生える。

STEP 4

高校時代、
試合に出場できない
挫折を経験。

高校時代も野球部に所属していたが、大会出場はできず挫折を経験。そこで、データ分析に取り組み、プレー以外で勝利に貢献できることを体感。

STEP 5

硬式野球部に入学し、
クリエイティブチームで活動。

硬式野球部のクリエイティブチームとして、企業への寄付金依頼の営業、試合のライブ配信やイベント企画などの広報活動を積極的に行い、野球の魅力を発信。

STEP 6

倍率300倍を勝ち抜き、
MLB Japanの
インターンシップに参加。

中学生の頃から憧れていたMLB Japanのインターンシップに挑戦。オフィスを直接訪問するなど、「野球を仕事にしたい」という熱意をアピールした結果、倍率300倍を突破!

ことでチームを支えました。その結果、最後の夏の県大会では初の準優勝を達成でき、目的をかなえる手段は自分次第でいくらでも広げられることを学びました。

この経験から、大学では硬式野球部のクリエイティブチームに所属。プレー以外で野球部のために何ができるかを自ら考え、挑戦したいと思ったことが理由です。野球未経験の小学生を対象にした野球教室「西南初球部」を企画したのもその一環です。先輩たちがやってきたことを踏襲するのではなく、自分にはできないことに挑戦する。面白いと思ったら、まずやってみる。その積み重ねが、「熱意を行動で示す」という私の強みを育て、人生の目標をかなえる一歩となる就職活動でも存分に生かされたと思います。

卒業後はテレビ局に入社し、スポーツ番組の制作を担当します。野球が復活する2028年のロサンゼルスオリンピックやWBCなど大舞台が待っています。野球の素晴らしい子どもから大人まで多くの人に届けるという目標のために、「全力で行動する」という自分らしさを武器に挑戦するのみです!



全日本大学野球選手権大会で史上初のベスト8進出に貢献。



STEP 7

株式会社テレビ朝日から
内々定をいただく。

スポーツに力を入れていること、日本のプロ野球球団に対して公平性があることに魅力を感じ、株式会社テレビ朝日を志望。内々定をいただく。目下の目標は、2028年ロサンゼルス五輪で現地から野球をリポートすること。

Message for you

私は中学1年生の時に夢を見つけることができました。でも、夢や目標を見つけるタイミングは人それぞれです。夢がある人と比べて、「自分には夢がない」と焦る必要はありません。あなたの人生の主人公はあなたです。迷ったら、ワクワクする方へ思い切って進みましょう。人生はやったもん勝ちです!



夢の原点は、
熊本地震で味わった
野球ができる喜び。

兄の影響で、小学生の頃から男子に混ざり、野球に熱中する日々を送っていました。そんな日常が一変したのは、中学1年生の時。熊本地震の影響で、部活動ができなくなりました。大好きな野球ができないもどかしさの中で、痛感したのは、野球ができることが決して当たり前ではないということでした。

そんな中、MLB Japanが運営に関わる復興支援の野球プロジェクトに参加する機会がありました。熊本と東北の被災地から中学生の野球チームが招かれ、野球を通じて交流し、互いの思いを語り合う機会が設けられました。その中で私は、「野球ができることへの感謝を胸に、立ち上がろう」と伝え、互いに前を向いて進むことを誓い合いました。この時、野球はただのスポーツではなく、人と人をつなぎ、明日を生きる希望なのだ実感したのです。「野球を仕事にしたい」。そう思った私は、MLBの方に拙い英語でその思いを伝えました。すると、「大学生になったら、インターンにおいて」と返してくれたのです。この瞬間、私は野球で生きていくと、心に決めました。

目標達成の手段は1つではない。
高校時代の挫折が
視野を広げるきっかけに。

目標が定まっただけでは、「どうすれば野球に関わる仕事に就けるのか」を常に考え、行動に移していきました。しかし一度だけ、夢を諦めそうになったことがあります。高校時代、女子選手として高校野球の試合に出場することができなかったのです。「野球の面白さを届けるには、自分が楽しむことが大切」と信じていた私にとって、試合に出場できない現実には、見出しに耐えられませんでした。そこでこの状況を変えるため、私はプレー以外の形でチームに貢献することを決意。データ分析に取り組み、戦略に役立てる

これが私の
生きる道。

STORY 02

たに ひでたけ
谷 英毅 さん外国語学部外国語学科 4年
筑前高等学校出身

STEP

1

1年間の浪人生活を経験。
大学でのリベンジを誓う。

浪人生活の悔しさから、大学では食欲に学ぶことを決意。「大学院進学」も目標の1つに。

目指すは、自らの言葉と政策で
国際社会の課題を解決する
外交の最前線へ。

For my dream

入学後、通訳の目標に向けて
英語の勉強に励む。

STEP

2

ニュースや映画の翻訳に触れ、「そんな表現があるのか」とワクワクした経験から「通訳」という職業に憧れ、英語の勉強に励む日々。



STEP

3

1年次後期、
アメリカ留学に挑戦。

1年次、外国語学部のプログラム「FLS-Honors※2」を利用し、アメリカ・デラウェア大学へ留学。この時、「外務省の通訳担当官」という仕事を偶然知り、将来の目標に定める。



STEP

4

3年次、刺激を求めて、
東京外国語大学に
1年間の国内留学へ。

「学ぶ環境を変えたら、自分はどう変わるのか」という思いから、外国語学部のプログラム「FLS-Insight@TUFS」に挑戦。3年次の1年間、東京外国語大学で学ぶ。

教授の助言で
「通訳」から
「外交の実務家」へ
目標が進化！

東京外国語大学で学ぶ中、教授の勧めで、通訳から外交の実務家を目指すことを決意。そのために必要な「国際法」の基礎知識を1年間で修得する。



STEP

5

教授の助言で
「通訳」から
「外交の実務家」へ
目標が進化！

東京外国語大学で学ぶ中、教授の勧めで、通訳から外交の実務家を目指すことを決意。そのために必要な「国際法」の基礎知識を1年間で修得する。



東京外国語大学では、アルゼンチンタンゴのサークルにも参加。

STEP

6

西南学院大学に戻って、
法学部・小寺ゼミに参加し、
国際法の学びを続ける。

4年次からは西南学院大学に学びの環境を戻す。外交の実務家という目標に向け、法学部国際関係法学科の小寺ゼミに参加。国際法の知識を深める。



STEP

7

「外交の実務家」という目標実現に向け、
東京大学公共政策大学院への
進学を決意。

「外交に必要な知識を究めたい」という思いから、大学院進学を決意。学ぶ環境が充実している東京大学の大学院を目指す。

Message
for you

「他人」ではなく、「自分」がどう思うかを大切にしてください。「無謀な夢だから」「あのほど優秀ではないから」という理由で諦めたとき、本当に納得できますか？目標を決めるのも、諦めるのも自分自身です。そして、目標を決めたなら人に言ってみましょう。そうすることで、自然と情報や応援してくれる人が集まってきます。

逃げる言い訳を考えるより、
挑戦できる幸せをかみしめる。

現在は図書館に通い詰めの毎日です。孤独な戦いの中で成果が見えず、不安や焦りに押しつぶされそうになることもあります。それでも、「今、試されている」と言い聞かせ、自分を奮い立たせています。都合のいい言葉で言い訳を作って逃げることは簡単ですが、それでは自分らしさを失う気がするのです。だから逃げない。この挑戦ができることに、幸せを感じています。東京大学の大学院に進学し、外交の現場に立つ。これが、私の信じる進むべき道です。

他者の言葉を語る通訳から
外交の実務家へ目標を変更。

私の夢は、外交官または国連職員として、外交の分野で人々の役に立つことです。この夢を志すようになったのは、大学3年次の時です。元々、外交官の通訳を担う通訳担当官に関心を持っていました。しかし、外国語学部の国内留学制度「FLS-Insight@TUFS※1」の留学先である東京外国語大学で、ある教授から「もう1つの立場の外交官を目指してみては」という言葉をもたらしたことがきっかけで進路を変えることにしました。他者の言葉を伝える通訳ではなく、自ら政策を考え、語り、交渉する。誰かのために役に立ちたいとずっと思っていた私にとつて、日本を代表して意見を述べることができる外交官や国際社会の課題に取り組む国連職員は、私の理想を実現できる仕事です。そして、グローバルな現場に立つたとき、何を感じ、自分がどう変化するのか。それを確かめたいという思いから、人生をかけてこの夢に挑戦することを決めました。

外交の知識を深めるため、
「番上」の大学院を目指す。

外交の分野で活躍するという目標が定まった今、あとは実現に向けて努力するのみです。東京外国語大学での1年間は、国際政治学の理解を深めるために「国際法」を履修しました。法律に関する基礎知識がまったくない状態から、通常は法学部の学生が3年かけて学ぶ内容を1年で修了する大変なカリキュラムに挑戦。かつてない密度の濃い学びの日々を過ごしました。

西南学院大学に戻ってからは、外国語学部にも籍を置きつつ、法学部国際関係法学科の小寺智史教授のゼミに参加。国際法や国際政治への理解を深めています。こうした学びを重ねる中で、将来、外交の現場で活躍するために、より実践的な知識が必要だと強く感じるようになりました。その思いから、「大学院に進学して、社会課題を解決する知識と実践力を身に付けたい」という新たな目標が生まれました。私が進学先として志望しているのが、東京大学公共政策大学院です。ここでは、社会課題を社会でどう解決するかという観点から実践的な政策研究が行われており、まさに私が求めている学びが実現できる環境です。もちろん、合格には相当の努力が必要です。それでも、どうせ目指すなら、「番上」を目指したい。一番上だからこそ、本気で挑む価値がある。そう信じて、日々勉強に励んでいます。

※1「FLS-Insight@TUFS」とは、外国語学の学びをさらに深化させることを目的とした、3年次以上の学生を対象とする、半期または1年間の、外国語学部独自の東京外国語大学への国内留学制度。

※2「FLS-Honors」とは、英語またはフランス語をコミュニケーションツールとして使いこなす能力の習得を目的とした、1年次後期に実施する外国語学部独自の本格的留学プログラム。

これが私の 生きる道。 STORY 04

いのうえ みくる
井上 美来 さん
人間科学部児童教育学科 4年
熊本学園大学付属高等学校出身

子どもたちが素直に思いを語れる、
一番の味方になれる先生を目指して。

STEP 1
小学5年生の時の
恩師との出会いから
「先生」が憧れの職業に。



小学5年生の時、自分の悩みに寄り添ってくれた担任の先生に救われた経験から、「小学校の先生」が憧れの職業に。

憧れの職業だった「先生」を
本気で目指すことを決意。

STEP 2
高校時代、進路選択ではかの職業と迷ったが、「子どもが好き」という思いから、「小学校教諭」を目指すことを決める。



STEP 3
大学で子どもに関わる
ボランティアに
幅広く参加。



「先生」の夢を実現するため、子どもに関わるボランティアに参加。学習支援や異文化交流、放課後の見守りなどを通じて、子どもへの理解を深めていく。



STEP 4
教育実習で責任と
やりがいを実感し、
夢への思いを強くする。

大学3年次、1カ月間の教育実習を経験。「教員」という仕事の責任の重さと同時にやりがいを肌で感じ、自分の進むべき道だと再認識する。



STEP 5
教員採用試験に向けて
ラストスパート!

生まれ育った熊本での小学校教員を目指し、教員を志す仲間と支え合いながら、教員採用試験の突破に向けて邁進中。

Message for you

学生生活は、自分の視野を広げる絶好の時間です。ぜひ新しいことに挑戦してみてください。決して高いハードルでなくてもいいのです。「少し高い壁」に挑戦する。それだけでも、世界は変わります。失敗したとしても、夢や目標につながる道が見つかるはずです。



For my dream

自らを客観視し、弱点を認めることで
「目指すべき自分像」が明確に。

サッカー強豪校で仲間と共に
「全国大会優勝」を目指した高校時代。

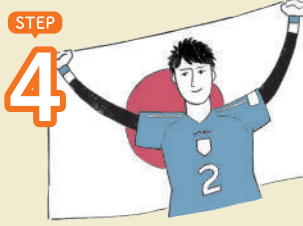


STEP 1
入学後、
サッカーへの情熱が冷め、
時間を持て余す日々。

大学入学後、サッカーとは距離を置く生活に。アルバイトや勉強に励む学生生活を送る。

STEP 2
大学3年次、将来への不安から
「就活ゼミ」に参加。

将来の進路について本気で考えるべく、就職課主催の「就活ゼミナール」に参加。自分の過去を振り返る中で、「なりたい自分」を模索。



STEP 3
高校時代の仲間が
世界で活躍する姿に
刺激を受ける。

高校時代のチームメイトが日本代表として活躍する姿に強く心を動かされ、自らも誰かに影響を与える存在になることを目指す。



STEP 4
新たな目標を胸に
就職活動に臨み、
念願の企業から内定を得る。

「個人や企業を支える」を軸に就職活動に取り組み、日本生命保険相互会社に総合基幹職として内定を得る。



就職活動が本格的に始まった3月、4月はエントリーシートの提出や面接でスケジュールはびっしり!



これが私の 生きる道。 STORY 03

たかはま りゅうのすけ
高濱 龍之介 さん
人間科学部社会福祉学科 4年
静岡学園高等学校出身

「当たり前前」の基準を高く持ち、
周囲に良い影響を与えられる人へ。

世界でプレーする
かつての仲間の活躍が、
自らの殻を破る力に。

高校時代は、熊本県から静岡県の強豪校にサッカー留学し、サッカー漬けの毎日を送っていました。部員数が約260人という大所帯の中、全員が「全国大会優勝」という目標に向かって切磋琢磨する日々。当時は、その環境が当たり前だと思っていました。しかし、大学入学後はサッカーと離れ、大きな目標もなく、何となく学生生活を送っていました。転機が訪れたのは大学3年生の時。「このままでは、なりたくない自分にならない」という将来への不安から、就職課主催の「就活ゼミナール」に参加。そこで初めて自分の価値観や過去の経験、将来と真剣に向き合うようになったのです。振り返れば、自分が最も成長できたのは高校時代でした。苦しい時を乗り越

越えられたのも、常に上を目指す仲間の存在があったから。そして、共に切磋琢磨した仲間は今、プロサッカー選手として活躍し、日の丸を背負ってピッチに立っています。その姿を目にした時、私は大きな刺激を受けました。「影響を受けるだけでなく、自分も誰かに良い影響を与えられる存在になりたい」。この思いが私の目標になり、就職活動を全力で取り組む原動力となりました。就職活動では、思うようにいかず心が折れそうになったこともありましたが、この目標が支えになり、最後まで粘り強く取り組むことができました。

卒業後は、「保険」という分野でお客さまが前向きな選択ができるように支えていきたいと考えています。私自身も成長を重ねながら、周囲に良い影響を与え、会社の発展を支える存在になることを目指します。



大学1年次からミニバスケットボールのコーチとして小学生を指導。

社会が良い方向に変わっていく。

その実現の足がかりになる記事を書き続けていきたい。

株式会社毎日新聞社
社会部 記者
木原 真希さん

決断 ターニングポイント！

人生は選択の連続。社会で活躍する先輩たちの「決断」から学ぶ、働くことへのヒント

PROFILE

2017年
法学部
法律学科卒業

第一学院高等学校出身。毎日新聞社に入社後、和歌山支局勤務を経て、東京本社の社会部に異動。防災担当として気象庁や復興庁を取材するほか、パリ五輪開催時には現地取材を行うなど、多岐にわたる領域で経験を積む。現在は教育担当となり、文部科学省の政策などを取材している。

ターニングポイント！



人生を切り開いた 新聞との出会い

不登校を経験した中学時代。唯一の社会との接点が、自宅に毎日届けられる新聞だった。新聞記事を通してさまざまな人の活躍、多様な生き方を知ることと、「私ももう一度頑張ってみよう」と少しずつ思えるように。この経験が後押しとなり、通信制の高校に通うことを決意する。

中学生～高校生

「マスメディア 実践論」で 記者への夢を 強くする

大学入学時より新聞記者を志すも、狭き門という現実の前に、しばらくは「夢」止まりに。しかし、2年次に受講した「マスメディア実践論」で、記者の仕事の面白さに触れ、夢を夢のままで終わらせないと決意。就職活動では新聞社4社に絞って選考を受け、毎日新聞社の内定を獲得した。

新人記者は 毎日大忙し。 事件や事故で 日夜奔走

およそ1カ月間の研修を経て、初任地である和歌山支局へ配属。最初は、警察官から情報を得る、通称「サツ回り」をするほか、さまざまなジャンルや人を取材。早朝も深夜も関係なく、事件、事故が発生すれば現場に駆け付ける、忙しい日々を送る。

支局勤務を経て、 東京本社の社会部へ

和歌山支局勤務を経て、東京本社の社会部へ異動。2024年のパリ五輪開催時には約1カ月の現地取材を行った。2025年4月からは入社時より希望していた教育取材班へ。不登校や教育格差など諸問題に日々切り込んでいる。

新聞記者になる夢を、
夢のままで終わらせない。

新聞記者になりたい。それは大学生になったばかりの頃、自然と湧き起こった思いでした。ただ一方で、難関大学出身者などの、選ばれし者だけが就ける職業だと思っていたため、当時は夢にすぎず、憧れに近い感情でもありました。その後、2年次に、当時開講されていた「マスメディア実践論」（現在は、「社会連携科目A（ジャーナリズム）（2）」を受講。さまざまな分野の新聞記者の方から話を聞くうちに、記者の仕事の輪郭がはつきりとしてきました。おかしいと思ったことに声を上げること、社会が動く瞬間に立ち会えること。その時の私は、記者という仕事の面白さにどんどん引かれていきました。次第に、夢のままで終わらせたくないと感じ、3年次には沖縄県の地方紙「沖縄タイムス」のインターンシップに挑戦。初めて取材に立ち会い、

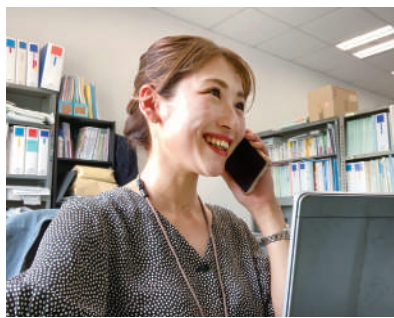
記事にするまでの過程を経験したことで、記者への思いはさらに強まりました。就職活動では新聞社4社のみに絞って選考を受けることに。無謀ともいえる挑戦でしたが、これは目の前の4社に全力で臨み、たかっただけです。不安や焦りと戦いながら、最後まで諦めなかった自分を、今は誇らしく思います。

新聞への特別な思いの背景には、中学時代の不登校の経験があります。当時、社会との接点は自宅に届く新聞だけでした。一度社会でドロップアウトした人が別の道で活躍する姿を紹介する紙面は、私に多様な生き方があることを教えてくれました。自分の力で人生をリスタートしたい。そう思わせてくれたのが、当時読んでいた毎日新聞でした。

社会の動きを伝える。

伝えることで社会が動く。

毎日新聞社では多くの新聞社と同様、新入社員は研修を経て全国



現場に足を運ぶだけでなく、電話で取材を行うことも多い。

意識を持ち続け、おかしいと声を上げることの大切さを痛感しました。地元の方から「記事にしてくれてありがとう」と言われた時、伝えることで社会が動く実感を得ることができました。

2021年には東京本社社会部へ異動。以降、警視庁で事件・事故、2024年開催のパリ五輪など多分野の取材を担当しました。2025年4月からは、念願だった教育取材班に配属。現在は大学や短期大学など高等教育を担当しています。目下の取材テーマは、急速な少子化を見据えた国公私立大学の規模や教育の質の在り方です。

また、2023年度の文部科学省の調査で、小中高生の不登校の児童・生徒数が過去最多であることが分かっています。私自身の経験を生かし、不登校への対策や支援な



木原さんが取材した記事。毎日新聞社は全国紙で初めて記事の原則署名化を実現。「記者個人を尊重する部分にも魅力を感じています」と木原さん。

選択に間違いはない。

自分で選んだ道を、

自分の力で正解にする。

人生の新たなステージに進む時、誰もが不安だと思います。就職活動では「この企業でいいのか」と戸惑うこともあるでしょう。しかし、選択に間違いはありません。自分で選んだ道を正解にしていくのです。私も不登校の経験を悔やむことがありました。しかし、その経験のおかげで新聞記者の夢が芽生え、今の自分がある。この心構えでいれば、一歩踏み出すことも怖くないはずです。

取材の合間に原稿を執筆する木原さん。教育取材班では、文部科学大臣の会見への出席や、有識者会議の傍聴なども行う。

今、必要な情報を
ギョツと凝縮！

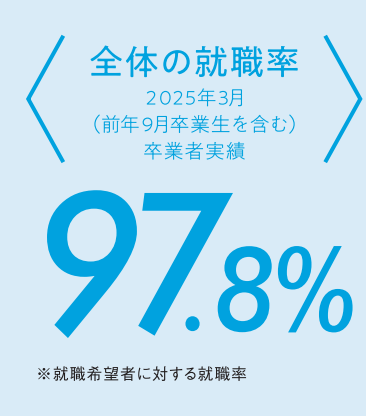
就活サブリ

「就職活動は具体的に何をどう進めればいいのか」という声にお応えする「就活サブリ」。今、必要な情報をギョツと凝縮し、皆さんをサポートします。

就活のノウハウが詰まった就職課をフル活用しよう。

秋になると、3年生の就職活動がいよいよ本格化します。そんな中、「業界や企業が決められない」「という3年生や、「就職活動は何から始めればいいのか？」と不安を感じている1・2年生も多いのではないのでしょうか。そんな時こそ、就職課に相談してみよう。

就職課は、これまでの実績と最新の就職情報をもとに、就活支援を行っています。1対1でじっくり相談できる「個別相談」をはじめ、学内で行われる就活イベントなど、就職活動に関する情報を身近で得られる機会が充実しています。



就職実績 ① 進路への満足度が高い！

丁寧なサポートで
強みや将来への希望を
見つけることができます

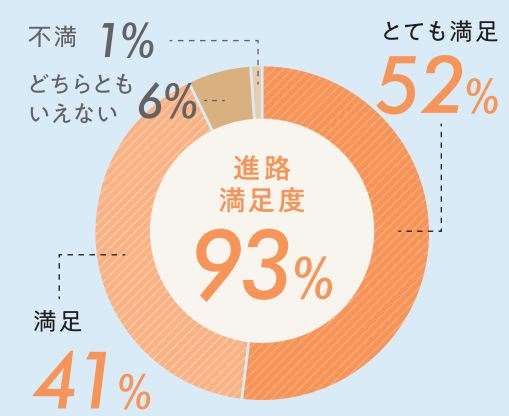


満足度の
高さのヒミツは！

個別面談

個別面談では、一人ひとりの現状や希望進路に寄り添いサポートをしています。進路に悩んだとき、具体的な対策がしたいときなど、入学から卒業まで、いつでも利用可能です。

最終的に決定した進路に対する満足度・納得度



※2025年卒対象就職活動終了後アンケートより

就職実績 ② 大企業に強い！

就活対策を
早めに始めると、
幅広い選択肢から
企業を選べますよ



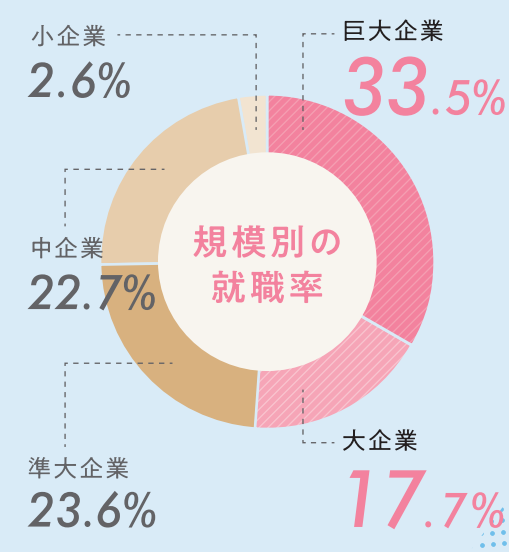
強さのヒミツは！

就活ゼミナール [選考制/ゼミ形式集中講座]

全力で志望先を目指す学生向けに、選考制、ゼミナール形式で対策講座を実施しています。1年間を通じた対策により、単なる就活テクニック支援にとどまらない、主体的な進路選択を後押ししています。共に就活に臨み、仲間づくりができることもポイントです。



規模別 資本金による区分 (自家営業、公務員、教員および詳細不明を除く)



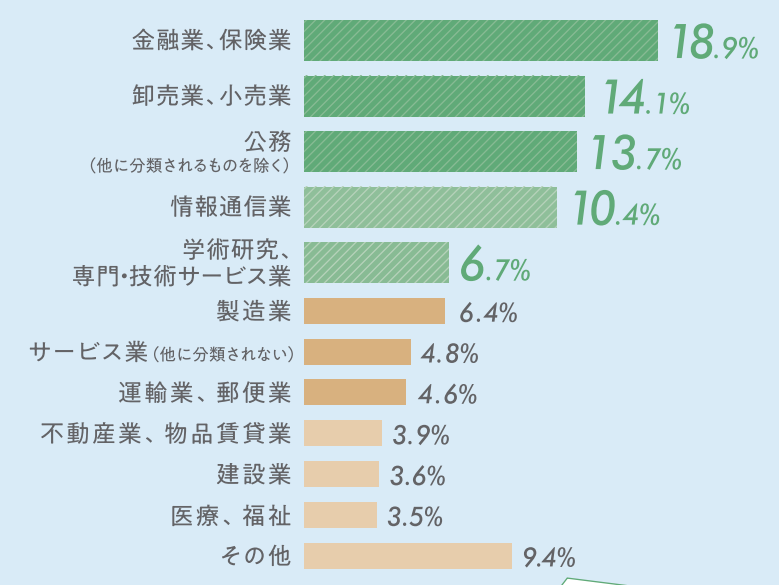
●巨大企業(資本金100億円以上)
●大企業(資本金10億円以上100億円未満)
●準大企業(資本金1億円以上10億円未満)
●中小企業(資本金1億円未満)
※小数点以下2桁の四捨五入により、合計値が100%と異なる場合あり

就職実績 ③ あらゆる業界に強い！

卒業生は、金融業や保険業をはじめ、幅広い業界へ進んでいます。ここ数年は、IT業界を選択する学生が増え、文理の枠を超えた進路が広がっています。「西南キャリア・就活EXPO」では、さまざまな業界や企業を一度に見ることができ、視野を広げる良い機会です。



業種別就職決定状況 (自家営業を除く)



強さのヒミツは！



西南キャリア・就活EXPO [夏の合説/秋の合説]

就職課直属学生団体「Branch」との共催で実施する、全学年対象の合同企業説明会です。学生主体で企業選定から実施まで全て運営しており、低学年でも参加しやすい学内最大級の就活イベントです。今年6月に開催された際には、延べ1,800人を超える学生が来場し、企業と直接交流できる機会となりました。



要チェック！

秋の合同企業説明会、開催！ 10月15日(水)～17日(金)



悩んだらいつでもおいで 就職課

問い合わせ
キャリアセンター 就職課
TEL:092-823-3321 (就職課直通)
E-mail:syusyoku@seinan-gu.ac.jp

就職課
公式マスコット
キャラクター
「しゅーしょくん」



就活に臨む全ての西南生のために。

将来への迷いや不安を

少しでも軽くできる存在になりたい。

人間科学部心理学科

なか やま もも か

3年 中山 桃花さん

(香住丘高等学校出身)

Profile>>>

大学1年次より就職課直属学生団体「Branch」に所属。同団体が今年6月に開催した合同企業説明会「西南キャリア・就活EXPO」では総合リーダーを務め、3日間にわたるイベント運営を統括する。また、コロナ禍をきっかけに一時離れていた合唱への思いが再燃し、2年次からは女性合唱サークルの「フラウエン・コール」に所属。現在は今年12月の定期演奏会に向けて練習中。

キーワード

就職課直属学生団体Branch

学業に加え、スポーツやボランティアなど、

さまざまな活動に熱心に打ち込む、学生の日常に密着。
輝く姿の裏側にある努力と苦悩、そして熱い思いを、今ここに。

2022年にスタートした
学内の合同企業説明会。

皆さんは、西南学院大学就職課直属の学生団体「Branch」をご存知でしょうか？ 私たちの団体は2022年に設立され、現在は1〜3年生の37名が所属し、キャリア支援を目的とした活動を行っています。西南生の就職活動に役立つイベントの企画や情報発信が主な活動内容。その中でも大きな目玉が、年2回、6月と10月に学内で就職課と共催する合同企業説明会「西南キャリア・就活EXPO」です。特に、6月は、学内最大級のキャリア就職活動支援イベントとして長い時間をかけて準備をしています。

現在、団体は4年目を迎え、認知度や経験値も上がってきましたが、団体設立前は学内開催の合同企業説明会がなかったこともあり、ゼロからの立ち上げはとても大変だったと聞いています。しかし、学内で開催することの意義はとても大きく、授業の終わりや合間に気軽に立ち寄ることができるといって、日々忙しい学生にとっては最大のメリットがあります。

本イベントは全学年を対象とし、予約は不要。本格的な就職活動を目前に控える3年生はもちろん、将来のイメージが明確でない低学年の学生も参加が可能です。これは1、2年次の早い段階でキャリア意識を高める良いきっかけになっていると感じています。

につれて会場選びが難しくなってきましたが、まずは来場者と参加企業の満足度向上をはじめ、イベント自体の質向上が目下の課題だと感じています。

また、総合リーダーを務めるかたわら、Instagramでの新たなコーナー企画にも取り組みました。「就活を知ろう」と題し、低学年の視点から就職課の方へ疑問や質問を投げかけ、Q & A形式で投稿。この企画の背景には、夏と秋の合同企業説明会が終わると団体として具体的な取り組みがなくなり、参加率が下がること、そして、メンバー自身の就職活動にとっても有益で、ガクチャカになるような活動を模索していたことがあります。

年々、合同企業説明会の低学年の来場者数が増えていることから分かるように、就職活動は早期化、長期化の傾向にあります。そんな中、不安を抱えて就職活動に臨む全ての西南生にとって、Branchという存在が支えになれたら……。私たち3年生は主戦場を離れますが、Branchの今後の成長を楽しみにしています。

リーダー像を模索し、奮闘。
悩んだ日々も、大きな収穫に。

私は今年の6月に開催された合同企業説明会「西南キャリア・就活EXPO」で、立候補の末、総合リーダーを務めました。準備段階から当日の運営までを統括するのが総合リーダーの役割。メンバーは運営班、記事班、広報班、企業連絡班の4班に分かれて活動し、役割分担によって作業効率を高めています。

まず、どんな企業に出展いただくか、企業連絡班が中心となって学生目線でリストアップし、就職課に提出。就職課が企業へファーストコンタクトを取った後、私たちが対応を引き継ぎ、準備が本格化します。今年は2025年1月から準備を開始しました。春休みのうちから各班に動いてもらい、時間と心に余裕が生まれたことで、例年より時間をかけて新入生に活動レクチャーを実施。団体の意義や活動のやりがい共有できたことで、全体の士気も高まっていたと思います。

本番が近づく中で、自分のリーダー

新入生向けの説明資料や
SNSに投稿する記事も
メンバー自身で作成



合同企業説明会に向けてピラ配りやミーティングを行う中山さん。

これから
トライしたいこと



次は私の番！
就職活動が
いよいよ本格化。

1年生の頃から就職活動に関する事柄にずっと触れてきてはいましたが、ついに3年生の私たちにも就職活動の本番がやってきます。Branchでの活動を通して、対企業とのやり取りにおけるノウハウやマナーを学ぶことができたので、この経験を武器に、これからは自分のために全力で頑張りたいと思います。

社会で起こっている
さまざまな事象を先生方が
独自の視点で語ります。

教授の ヨノナカ考



神学部神学科
はまの みちお
濱野 道雄 教授

上智大学大学院、西南学院大学神学部卒業、独 ハイデルベルク大学、米 太平洋神学校留学。牧会学博士。2018年度、パレスチナ・イスラエルの分離壁沿いにある Tantur Ecumenical Institute(米 ノートルダム大学)で在外研究。専門は実践神学。

中東問題と キリスト教の責任

6月13日、イスラエルはイランに先制攻撃しました。石破首相は当初「到底許容できるものではない」と発言しましたが、日本も参加したG7からはイスラエル支持の共同声明が出され、齟齬が生じました。日本以外のG7参加各国はアメリカをはじめキリスト教文化を持ちます。キリスト教はパレスチナ問題のような中東課題に大きな責任を持っています。19世紀まではユダヤ教、イスラム教、キリスト教が共存していた地域に、ヨーロッパで「キリスト教的社会にユダヤ教はもう用なし」と迫害されたユダヤ人が移り、「玉突き衝突」でパレスチナ人迫害を始めたことがパレスチナ問題の始まりでしょう。現在も「世界の終わりにキリストを迎えるため、イスラエル国を建てて守れ」というキリスト教原理主義者の支持を集めようと、キリスト教徒が多い国の政治家はイスラエル支持に動きます。方向転換し、中東に平和をつくる責任と具体的な働きを負わなければ、キリスト教の明日はないと、キリスト教徒である私は思っています。

読書教養講座を開催しました (作家・小林エリカさん)

7月4日(金)、作家、アーティスト、漫画家などとして多方面で活躍されている小林エリカさんを講師に迎え、「歴史の影を照らす」をテーマに読書教養講座を開催しました。

小林さんは2014年、『マダム・キュリーと朝食を』で三島由紀夫賞と芥川賞の候補に選出され、2024年には女学生たちの知られざる戦争体験を描いた『女の子たち風船爆弾をつくる』で第78回毎日出版文化賞を受賞されました。

小林さんは講演の中で、『女の子たち風船爆弾をつくる』の執筆について「風船爆弾にまつわる戦争体験をフィクションで書くか、ノンフィクションで書くかなど、私にはどのような書き方ができるだろうかととても悩んだ。思案した末、“わたし”、“わたしたち”という一人称を使って書くことにした。これまで歴史を扱った作品で一人称を使ったことはなかったが、日本



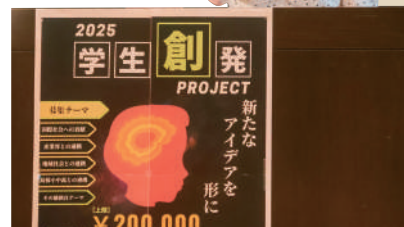
という国に生まれ、日本という国の過去や歴史に責任を持つ者として、私も日本に責任を持つ1人であると考えたとき、“わたし”という表現がしっくりきた」と執筆の背景や思いなどを語りました。

「学生創発プロジェクト2025」 最終審査会を開催 ～学生主導の社会課題解決に向けた 新たな取り組み～

6月25日(水)、「学生創発プロジェクト2025」の最終審査会を開催し、審査の結果、7つの学生団体のうち6団体の取り組みが採択されました。本プロジェクトは、学生の創造性と知的探究心を支援し、革新的なアイデアの実現を後押しする本学独自の取り組みです。採択団体には上限20万円の活動資金が支援されます。

最終審査会では、団体ごとに「国際社会への貢献」「産業界との連携」「地域社会との連携」「幼保小中高との連携」「その他独自テーマ」の5つのテーマから選択した取り組みのプレゼンテーションを実施。課題解決のアイデアや想い、実現のための資金計画、活動スケジュールなどを熱弁しました。

本プロジェクトは、学生が社会課題を主体的に発見し、解決策を考案・実行する貴重な機会として位置付けられています。採択された6団体の今後の活動が、新たな価値をもたらすことが期待されます。



本学史上初の快挙! 硬式野球部が 第74回全日本大学野球選手権大会でベスト8進出!



6月9日(月)～15日(日)、東京都で第74回全日本大学野球選手権大会が行われ、本学硬式野球部は、69年ぶりの初戦突破、本学史上初のベスト8進出という快挙を成し遂げました。

2年ぶり8回目の全日本大学野球選手権大会出場となる本学は、1回戦で四国地区大学野球連盟代表の聖カタリナ大学と対戦しました。点を取られてもすぐ

に取り返す春季リーグ戦での戦いをそのまま全国の舞台でも発揮し、同点で迎えた4回表に3点を追加、続く5回表には打者一巡の猛攻で怒涛の7得点。結果は堂々の13-3、5回コールドで69年ぶりに全日本大学野球選手権大会で勝利を挙げました。2回戦はベスト8をかけて東海地区大学野球連盟の日本大学国際関係学部と対戦しました。1回表に先制しますが、2回裏、3回



裏に点を取られ逆転。3-6とリードを許し迎えた8回表、打線がつながり一挙に8得点。9回表にも3点を追加し、14-6で大逆転勝利。本学硬式野球部史上初となる全日本大学野球選手権大会ベスト8進出を決めました。準々決勝は本大会37回目の出場となる強豪で本大会優勝校の東北福祉大学との対戦。3-8で敗れましたが、強豪を相手に最後まで諦めずに粘り強く戦いました。

各試合には福岡や関東近郊在住の卒業生など、たくさんの方々が応援に駆け付けました。また、1回戦では雨の中、本学応援指導部応援団やチャリダー、吹奏楽団の、選手たちに負けないくらいに熱い応援が響き渡りました。

本学史上初のベスト8という快挙を達成した本学硬式野球部。その戦いぶりが評価され、チームとして本大会特別賞を受賞しました。今後も、硬式野球部への応援をよろしくお願いします!



ヤーノシュ・ツェグレディ氏講演会 「サバイバー、歴史の証人に出逢う」が開催されました

6月26日(木)、第二次世界大戦終結から80年の節目にあたり、本学ヘビアンニストのヤーノシュ・ツェグレディ(Janos Cegledy)氏をお招きしての講演会およびピアノリサイタルを開催しました。本講演会は、2025年度教育推進プログラムの学部横断プログラムの一環で実施され、学生が戦争体験者の「生の声」に触れることで、歴史を単なる知識としてではなく「実感」として心で捉え、命の尊さや平和、自身の人生について深く考える力を育むことを目的として開催されました。

1937年、ハンガリーの首都ブダペストに生まれたヤーノシュ・ツェグレディ氏は、ナチ・ドイツによるユダヤ人虐殺(ホロコースト)の生存者で、幼少期に迫害を受け7歳までに家族と離れ離れになりました。その後、両親は別々の強制収容所から奇跡的に生還し、ツェグレディ



氏と兄はブダペストのゲッターを生き延びた「特異な歴史の証人」として知られています。

講演の序盤と終盤に、ツェグレディ氏の編曲作品『Es brent(燃えている)』や「ベートーヴェン:ピアノ・ソナタ第7番ニ長調 Op.10-3」の第2楽章(ラルゴ・エ・メスト)などが披露され、戦争の悲惨さや命の尊さを繊細に表現し、会場全体が感動に包まれました。

序盤のピアノ演奏後、学生9名が登壇し、ツェグレディ氏がホロコーストを生き延びた体験や音楽家としての人生、戦争体験者として伝えたいことなどについて対談。学生からの「世界各地で戦争が起きている今、私たちはどうあるべきか」という質問に対して、ツェグレディ氏は「人に優しく。相手の声に耳を傾け、自分の頭で考えお互いに親切であることが大切である」と述べました。

本講演会では、戦争体験者の「生の声」に耳を傾け、過去の歴史を学ぶだけでなく、自分の心で平和の尊さや命の大切さを捉え、今後の意識変容を促す貴重な機会となりました。





出身地も言語も異なる学生たちとの出会いは刺激的でした！



ハンガリーの国民食であるスープ「グヤーシュ」は思い出の味



友人に贈るために買ったハンガリー産ワイン



サッカー観戦で訪れた、ドイツのミュンヘンやイギリスのブライトンはいい思い出



留学先協定校

エトヴェシュ・ロラード大学 [ハンガリー]

留学期間：2024年9月～2025年6月

1635年創立、首都ブダペストにあるハンガリーを代表する名門校。

人文学、法学、経済学、社会科学といった広範囲な学問分野で、高水準の教育を提供する。

ブダペストの中心地にあるキャンパスはとても広大！



西南学院大学のように絵にみるキャンパス！

経済学部国際経済学科
わかまつ まさのぶ
3年 若松 真伸さん
[筑紫丘高等学校出身]

留学は「初めて」の連続。
経験値と英語力が上がるにつれ、
発言や行動にも自信が持てた。



Q1

何を学びましたか？

秋・春学期ともに経済学部の科目を履修しました。「基礎経済学」のほか、「経済政策」「国際的な金融と経済」「投資」といった日本とは異なる視点でも経済学を学修。授業中は専門的な単語も頻出し、授業についていくのが大変だったため、復習も時間をかけて行っていました。

Q2

大学がある街の雰囲気はどんな感じですか？

経済学部のキャンパスは街の中心地にあり、地下鉄の最寄り駅も近く、どこに行くにも便利な立地。寮の近くにはスーパーもあり、日々の買い物に便利でした。また、大学のそばを流れるドナウ川沿いの建物群が本場に美しく、街全体が世界遺産に登録されているほど。特に、川の対岸から見る国会議事堂周辺の景色は私のお気に入りです。

Q3

留学中の印象的なエピソードはありますか？

留学中、パソコンをバスの中に忘れたり、フランスへ旅行に行く際、乗るはずだった飛行機が急遽欠航したりと、さまざまなトラブルが起きました。これまでの私なら誰かに手助けしてもらっていたかもしれませんが、しかし、留学中はあらゆるトラブルに対して英語で交渉し、自分自身で解決できるようになりました。

英語に自信がない自分に
終止符を打つべく挑戦。

海外の文化や生活に興味を持ち始めたきっかけは、中学生の頃に見たサッカーの試合でした。小学2年生から高校生までサッカー漬けの毎日だった私にとって、海外選手のプレーのかっこよさや、現地のスタジアムの雰囲気、サポーターの熱気など、海外サッカーの盛り上がりは衝撃でした。そこから自然と海外の生活に関心を持ち、洋画や海外のテレビ番組を見るようになったのです。高校時代、英語は得意科目でしたが、英語を話す機会がなかったため、聞く、話す、力にはまったく自信がありませんでした。そこで、「留学に行くなら、このままではダメだ」と奮起し、大学1・2年次に「留学生バディ制度」に挑戦。この制度は、日本人学生が西南学院大学にきた留学生とバディになり、留学生の勉強や日常生活を手助けする取り組みです。最初は留学生との簡単な会話でも緊張していましたが、日常的に英語を使うことで表現の幅が広がり、英会話の基礎固めにつながりました。



ハンガリー国内で最も大きな建築物といわれる国会議事堂の前で記念撮影



現地では西南学院大学と同じく経済学部所属し、全て経済学関連の科目から履修しました。全科目にレクチャー（大人数の講義）とセミナー（少人数の講義）の2つの授業スタイルがあり、理論と実践

勉強に対する姿勢が変化。
周りからの良い影響で

留学生同士の交流イベントが開催されました。バーに行ってお酒を楽しんだり、天気がいい日にはピクニックに出かけたりと、アクティビティを通して自然に顔合わせができました。ただ、当然ながら会話は全て英語。未熟だった英語脳をフル回転させていたため、これまでに経験したことがない疲労感に襲われました。しかし、結果的にこの1週間が授業への良い準備運動となり、顔見知りの学生も増えて、とても意義深い時間だったと思います。

の両面から学びを深めていきます。最初の頃は英語での授業に苦戦しましたが、留学前に経済用語を勉強していたことや、1年次に経済英語を履修したことで、少しずつ授業のスピードについていけるようになりました。

振り返ると、ハンガリーでは勉強に重きを置く学生が多く、アルバイトをする人は少ない印象です。学部内には授業の録画を自由に視聴できるビデオルームがあり、いつも多くの学生が利用していました。授業中も授業後も熱心に学ぶ学

Point

地道なシャドーイングも、
英会話力向上に大活躍。

1年次から学内のTOEFL講座に参加し、現状の英語力の把握や、今後の課題の洗い出しに努めました。英会話に関しては、YouTubeの英語学習チャンネルや、Netflixで洋画を見て繰り返しシャドーイング。カジュアルな英語表現も身に付けたいと思い、日常会話の知らない表現もこまめにメモし、シーンや相手によって英語を使い分けできるよう練習しました。



動画コンテンツは、
語彙力向上にも◎！



商学部
MY ANSWER
うわさ
×
eビジネス

商品情報へのアクセスを
消費者に開いたeビジネス。

「うわさ」は、真偽が明らかでない情報という特徴を持っています。近年、増加している匿名の口コミやSNS上の書き込みも、その性質から「うわさ」の一種であると考えることが出来ます。

特に、インターネットの通信販売をはじめとする「eビジネス」は、「うわさ」が与える影響を大きく受けています。口コミや書き込みを鵜のみにしないとしても、それらは私たちの購買行動に少なからず影響を与えています。

その影響の1つとして、消費者の企業に対する「交渉力」の向上が挙げられます。かつては、どのような商品がいくらで売られているかといった情報は、店舗に直接足を運ばなければ得ることができませんでした。そのため、消費者は限られた選択肢の中から商品を選ばざるを得なかったのです。

しかし、インターネットの普及によって状況は大きく変わりました。今や、ネット検索をすれば、多種多様な商品の価格や機能などの情

虚々実々のうわさを含む
情報があふれるインターネットは、
消費者の企業に対する交渉力を
向上させた一方、
情報の取捨選択には注意が必要です。

報を簡単に得ることが出来ます。これにより、消費者は自分のニーズに合った商品を見つけやすくなりました。その結果、たとえうわさレベルの「口コミ」や書き込みであっても消費者自身が入手できる情報は格段に増え、それに伴い、「選択する力」や「価格を引き下げる力」を手に入れたのです。つまり、消費者の企業に対する「交渉力」が強くなったということです。

また、気軽に情報を発信・収集できるようになった現在の技術革新は、高く評価できるでしょう。

「うわさ」はeビジネスを
拡大させる原動力に。

一方で、eビジネスにおける「うわさ」は、必ずしも良い影響ばかりではありません。リアルな人間関係におけるうわさは、発信者やそれを信じた人たちに限って広まっていますが、インターネット上には、真偽が定かでない「うわさ」があふれています。そのため、消費者にとって何を信じるべきかを見極めるのは困難です。実際、こうした情報に惑わされる消費者も少なくあり

法学部
MY ANSWER
うわさ
×
価値基準

常識や、価値観を反映させたものです。そのため、何が名誉毀損に当たるかは、国によって異なります。名誉毀損は、被害者の名誉、いわゆる人格権を保護しようとするものです。しかし

そもそも、法律は文化・風習、気候・風土、政治制度など、その国・地域の

国境を越えたフェイクニュースは、
名誉毀損になるのか？
どこの国の法で裁くのか？

法律において、「うわさ」と深く関わる問題の1つに「名誉毀損」があります。真偽不明なうわさであっても、それによって社会的評価が傷つけられた場合は、刑事上のみならず、民事上も不法行為として、法的責任が問われることがあります。特に、インターネットが普及した現代では、うわさやフェイクニュースは瞬時に拡散され、その影響が世界中に広がる可能性があります。例えば、国際的に活躍する芸能人の「ゴシップ記事」がインターネットで拡散されると、その内容が事実でなくても、世界各国での活動に影響を与える恐れがあります。このような国境を越える名誉毀損の民事上の問題について、法律はどのように対応するのでしょうか。

善悪の価値基準は国によって異なります。
そのうわさが気になるのは、
あなたの価値基準に触れるからです。
その価値基準を理解することで、
冷静に物事を見極められるようになります。

うわさ
×
MY ANSWER

社会や時事問題に関する素朴な疑問に、2人の教授が答えます。それぞれの専門領域から導き出された「マイアンサー」とは？きっとあなたの知の扉を開いてくれるはずです。

ません。

このように消費者が情報の取捨選択に混乱する一方、「プラットフォーム」と呼ばれるプラットフォーム運営事業者はこの情報の氾濫を収益のチャンスと捉えています。GAF Aに代表されるプラットフォームは、ネット上での消費者と販売者の仲介を主なビジネスとしてしています。そのため、仲介する情報が多いほど、自社の検索エンジンの利用頻度を高めたり、レコメンドシステムによってユーザーに最適なコンテンツを多く提案したりすることが出来ます。その結果、自社のプラットフォーム内での購買率が向上し、企業からの広告出稿が増え、収益の拡大につながっています。

このことから分かるように、プラットフォームにとって、「うわさ」は広めるべき情報でも、真偽を追究すべき対象でもないのです。広告のような効果を待つ手段であり、消費者の好みに応じた情報を大量に浴びせる道具にすぎません。つまり、eビジネスの世界では、情報の真偽よりも量が重要であり、口コミや書き込みといった「うわさ」は、ビジネスを拡大する原動力となっ

このように「うわさ」は、フェイクニュースであれ、口コミであれ、その行為自体が常に名誉毀損にあたるわけではありません。問われるのは、その行為が、そこで基準とされる法の下で名誉毀損として評価されるかどうかであり、その判断は適用される法次第なのです。

「正解がない問い」に
振り回されないために、
大学の学びがある。

私たちは「たかがうわさ」と思いつつも、うわさに惑わされがちです。その理由は、うわさが無意識に、「〇〇は許せない」「〇〇が一番」といった、あなたが持つ価値基準に触れているからだと思えます。名誉毀損が不法行為にあたるかが、そこで基準とされる法により決まるように、あなたの中にも、常識や、価値基準があり、それに沿わない情報に対してはあなたの心のセンサーが反応してさわつくのではないのでしょうか。「なぜ、このうわさが気になるのか」と立ち止まり、自分の心のセンサー、つまり自分の価値基準を自覚してみよう。また、国際私法が世界中に異なる常識があることを前提としているよう

ているのです。

私は「サビキ」という疑似餌を使った釣りが趣味ですが、インターネット上にもフィッシング詐欺やフェイクニュースのように意図的に人を欺く悪質な情報が存在しています。一方で、「おすすめコメント」のように悪意はなくても、主観で語られた口コミも無数に浮遊しており、これらは消費者にとって適切ではない商品の選択に導く可能性もあります。こうした状況を見ると、ネットの海を泳いでいる私たちは、魚よりも厳しい環境にいるのかもしれない。だからこそ、インターネットでは情報を多面的に捉え、慎重に判断することが必要です。

学生の皆さんは、大学卒業後、社会という荒波を長期間泳いでいくこととなります。そこで求められるのは、物事の真偽を見極め、的確に対処する分析力やコミュニケーション力です。これらの力は、どの分野の学問でも、その学びから身に付けることが出来ます。多様な価値観や背景を持つ仲間が集まる大学という場だからこそ、教員や友人との交流を通じて、こうした力をぜひ養ってください。

に、ほかの人の価値基準にも思いを巡らせてみましょう。そうすることで冷静さを取り戻し、うわさの真偽に振り回されずに済むようになるかもしれません。

世の中は「正解がない問い」であふれています。高校までの「答えがある世界」とは違い、ちまたにあふれる「うわさ」も含め、社会には不確かな問いが多く存在します。正解がないことに不安を覚える人もいます。しかし、「うわさ」も、その真偽自体が重要なものではなく、たとえ真実であっても、それをどう評価するかは受け手次第であり、価値基準に委ねられているのです。正解がない社会を生き抜くためには、自分

の答えを見つける「思考のプロセス」を身に付けることが重要です。そして、その「答えがない問い」に、答えを出せるようになる訓練をする場が大学です。「これって何かおかしいよね」と疑問を持つことが学びの入り口になります。仲間と一緒に、互いの価値基準を尊重し合いながら、答えを探し続け、「思考プロセス」を身に付けていきたいと思います。思考のプロセスを身に付けていれば、立場が変わっても、自分なりの答えを導くことが出来ます。ぜひ、大学でその力を育ててください。

法学部国際関係法学科

かまたに まふみ

釜谷 真史 教授

九州大学大学院法学研究科博士課程修了。
研究分野は国際私法。

商学部経営学科

まるやま まさひろ

丸山 正博 教授

一橋大学大学院国際企業戦略研究科
博士後期課程修了。
研究分野はマーケティング、流通政策、eビジネス。



→ くん ちゃん ばあ 非 串

194

interview with OB/OG

株式会社寺子屋ネット福岡

代表取締役



< Profile >

とば かずひさ
鳥羽 和久さん
(朝倉高等学校出身)

2001年
文学部国際文化学科
(現・国際文化学部国際文化学科) 卒業

学習塾「唐人町寺子屋」や通信制高校、フリースクールを運営する鳥羽和久さん。教育に関する書籍も多数執筆し、3作は1万部を超えるベストセラーとなっています。教育者として活躍する鳥羽さんですが、実は昔、学校の勉強にはまったく興味がなかったといいます。そんな鳥羽さんの学生時代のことや、教育への思いについて伺いました。



「勉強」の形に正解はない。
余計な「こだわり」は持たず、
一人ひとりに
最善の教育を届ける。

大学院時代に塾を開業。
恩師との出会いが
教育者としての指針に。

私が塾を開いたのは、大学院在籍3年目の時です。きっかけは、両親から「もう学費は出さない」と告げられたことでした。大学に6年間、大学院に2年間通わせてもらい、さらに「もう1年、大学院に通いたい」とお願いしたところ、さすがに断られてしまったのです。

そこで、学費を稼ぐために始めたのが、進学塾でした。もともと大学1年生の頃から家庭教師のアルバイトをしており、多い時には15人もの生徒を担当していました。また、市販のテキストでは物足りず、中学3年分・5教科全てのオリジナルテキストを自作し、その子に合った指導法を自分なりに実践していました。

塾の開業は学費のためでしたが、教える仕事には心からやりがいを感じていました。

一方で、私自身は「勉強はやらされるもの」と思い込んでいたため、大学の授業は欠席がち。アルバイトやサークル三昧の日々を過ごし、気が付けば大学在籍6年目になっていた。そんな時、仕方なく出席した授業で出会ったのが、倫理学(西



学生時代に自作したテキストは、改版を重ね、現在も活用中

洋哲学)の岩尾龍太郎先生でした。開口一番「哲学なんてやつても意味ないから」と言い放った先生の言葉に、私は衝撃を受けました。「こんな先生がいるんだ!」と心をつかま

れたのです。そこから、人が変わったように勉強にのめり込み、1年で56単位を取得。もっと勉強したいという思いが芽生え、大学院に進学しました。

今思えば、私はずっと「面白い勉強があること」を知らなかったのです。それを教えてくれたのが岩尾先生です。そして、大学院時代に学んだ哲学者たちの言葉は、今、私の子どもたちと向き合う「構え」となっています。

自分の頑張りも、

他人の夢も大切にできる人に。

開業当初は、受験のための学習塾でしたが、続けるうちに、既存の教育の枠に収まらない子どもたちがいることに気付いたのです。受験というレースを続けることで、その子の独自性が損なわれてしまう。ならば、全員がそのレースに参加しなくてもいい。そう強く思うようになりしました。そこで、数年前に通信制高校とフリースクールを立ち上げ、さまざまな背景を持つ子どもたちを受け入れています。

< 48歳 > < 42歳 > < 39歳 > < 38歳 > < 35歳 > < 33歳 > < 27歳 > < 24歳 > << History >>

大学在籍6年目、岩尾龍太郎先生との衝撃的な出会いをきっかけに、人生で初めて勉強に目覚める。

大学院在籍3年目、学費を稼ぐため、学習塾「唐人町中学生寺子屋」を開業。チラシや口コミの効果で40名の生徒が集まる。

教室名を「唐人町寺子屋」に変え、高校生の受け入れをスタート。

小学6年生の受け入れを開始。小学6年生から高校3年生までの子どもたちの成長のダイナミズムを目の前で感じられることが喜びに。

高校を中退した塾生の大学進学への支援と居場所づくりのために、山梨県の日本航空高等学校と連携した単位制高校「航空高校唐人町」を開業。

塾の1階に書店「とらきつね」を開業。併設するイベントスペースでは、全国から著名人を招き、定期的にトークイベントやライブを開催。

保護者へ手紙を書く思いで執筆した初の著書「親子の手帖」を刊行。1万部を超えるベストセラーに。

中学生を対象としたフリースクール「オルタナティブスクール TERA」を開業。「TERA美術部」など子どもたちが楽しみながら学べる場を提供。



ろ、次の日にカメラを買った。私はい、翌週に旅に出た子がい

あつていいと思うのです。受験勉強に励む子が学校に行かない子を見下したり、その反対に自由な環境で学ばずが受験に打ち込む子をばかにしたり。そんな話をよく耳にします。しかし、受験勉強も1つの青春であり、教室の外で何かに熱中することも勉強です。どちらもあつていい。だから、塾では両方の子どもたちが「そつちもいいね」と認め合える環境を大切にしています。

本を読もう。

思考をかき乱す言葉と出会う。

唐人町寺子屋では、数年前から通信制の高校生も含めた「哲学対話」という授業を行っています。きっかけは、「高校生たちに話す場をつ

将来、社会に出るあなたへ

働き始めるからといって、
何一つ諦めなくていい。

社会に出ると自由な時間が減り、やりたいことを諦めなければならないと思いませんか?確かに、一時的にそういう期間があります。しかし、何かに夢中になりた



Student Voice

株式投資にも通じる 企業分析の知識を修得!

1年生のときに株式投資に挑戦したことをきっかけに、企業分析への興味が高まりました。加藤ゼミは、株式投資にも通じる企業研究の知識を深められると思い、志望しました。ゼミでは従来とは異なる角度から企業を分析し、その成り立ちや業績の背景を把握できるようになったと感じています。



経済学部経済学科
や え りょう
3年 八江 遼羽さん
(福岡工業大学附属
城東高等学校出身)

Student Voice

自らの理解を深め、 より分かりやすい発表へ

デジタル市場には多様なビジネスモデルが存在し、それらが日常生活の中でどのように活用されているかを明らかにすることに面白さを感じています。また、発表内容に対してフィードバックを得られるので、より分かりやすい発表を目指して自らの理解を深める姿勢が身に付きました。明るい雰囲気での授業も加藤ゼミの魅力です。



経済学部経済学科
た か ま つ
3年 高松 みらのさん
(宇佐高等学校出身)

ここが面白い! 加藤ゼミ

合同報告会で実践的に プレゼンテーション力を養う。

プレゼンテーションは、性格や能力に関係なく、経験を重ねることで上達するという考えのもと、加藤ゼミでは、3・4年生間や他ゼミとの合同で、定期的に報告会を実施しています。ステージがある西南コミュニティセンターで、大勢の前に立って話すことで実践的なプレゼンテーション力が養われます。「王道の観光地にはあえて行かないゼミ旅行」も加藤ゼミの名物です!

close up! 加藤ゼミ



【論文テーマ】

- ▶『異なるオークションの比較分析～国債と周波数を中心に～』(2018年)
- ▶『民泊プラットフォーム企業の果たすべき役割』(2018年)
- ▶『価格差別の理論と実態～地域別価格を中心に～』(2017年)

ゼミのテーマである「デジタル市場」とは、インターネットを利用してサービスや商品を提供する市場のことをいいます。近年は、デジタル市場を基盤にしたビジネスモデルが多数登場し、現代の産業の発展に欠かせないものとなっています。

そこで、デジタル市場を理解するため、3つの主要な構成要素について学びます。1つ目は、売買の手段である「eコマース」。2つ目は、売買の対象となる商品・サービスの「デジタル財」。3つ目は、売買を可能にする仕組みである「デジタルプラットフォーム」です。これらの役割や特徴、仕組みなどを理解し、理論的アプローチとして産業組織論の視点からデジタル市場を考察します。

また、サブスクリプションやシェアリング・エコノミーなど、デジタル市場の台頭によって生まれたビジネスモデルも学ぶべき要素として取り上げます。具体的な事例を調査し、ビジネスモデルの特徴を明らかにすることも、これらのビジネスを支えるIoTやAR/VRなどの技術的要素に関する基礎知識の修得も目指します。

演習の進め方は、教科書やビジネス書をベースにしたプレゼンテーション形式です。発表者は、担当するテーマの内容を要約し、関連するビジネスを調査して紹介します。発表のポイントは、さまざまなデジタル技術がどのようにしてビジネスに生かされ、利益を生み出しているか、聞き手側の学生も、このポイントを理解することが求められます。プレゼンテーション後、聞き手側はグループを作り、報告のポイントをもとめたシートを作成し、読み上げます。これにより、聞き手は自身の理解度を確認でき、発表者は発表内容や伝え方を振り返る機会を得ることができます。

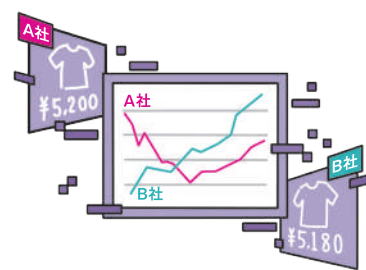
ゼミで重視しているのは、知識の修得ではありません。産業組織論の理論を実践的に使うことができる思考力、ビジネス現象の根底にある経済原理を見出す力を養うことを目指しています。流行のビジネスモデルを無条件に称賛するのではなく、冷静な視点で経済全体を俯瞰し、本質を見極める力を身に付けることがゼミの最終的な目標です。

ゼミテーマ

デジタル市場

デジタル技術の活用法と
利益が生まれる仕組みを
デジタル市場から学ぶ

Please tell me about your research! Vol.11



教授の研究テーマ

産業組織論

私の研究分野は、「産業組織論」です。産業組織論は、生産や販売、価格設定、研究開発などの企業行動や企業間競争、さらには企業の新規参入から成長、撤退に至るまでのダイナミクスを対象とする経済学の一分野です。私の研究では、企業・市場・産業に見られるさまざまな現象の背後にある原理や法則を、理論的に明らかにすることを目指しています。その分析手法として、数学モデルを構築し、コンピュータを用いてシミュレーションしています。

進化しており、ECサイトに広く活用されています。このプライシング・アルゴリズムが企業間の競争や市場構造にどのような影響を与えているのかを、理論分析やシミュレーション分析によって明らかにします。デジタル市場で活動する企業を想定し、それぞれのプライシング・アルゴリズムを模したモデルを構築して価格競争をシミュレーションします。その結果をもとに、価格の動きや競争関係の変化を定量的・定性的に分析しています。

人間のあずかり知らないところでこのような違法行為が行われているという、まるでSF世界のような事象が本当に起こり得るのか。その可能性をシミュレーションと理論の両輪で探っています。

研究の醍醐味は、新しい技術が登場するたびに、経済学の理論の本質を見つめ直せる点にあります。AIなど新たな技術が現れると、「経済の大転換」が叫ばれますが、産業組織論の視点から見ると、情報伝達速度や取引の手段が変化しているだけで、市場はいつの時代もお金を介してモノやサービスが取引されており、基本的な仕組みは変わっていません。つまり、「理論」という確かな土台があることで、目先のブームに振り回されることなく、企業・市場・産業を冷静に考察できるのです。

経済学部経済学科 かとう ひろし 加藤 浩 准教授

名古屋大学大学院
経済学研究科後期博士課程修了



教授の研究にクローズアップ!

開いてみよう!

知の トビラ

教えて先生 Q&A

研究の道に進んだ きっかけは?

大学で経済学を学ぶ中で、高度な数学を用いた経済理論に関心がありました。中でも、「産業組織論」は最も高度な数学を使う分野だと感じ、この分野の専門ゼミを志望。ここで産業や企業に関するトピックを数学的手法やプログラミングで分析するスキルを身に付けたいと思ったことが、研究者を目指すきっかけになりました。

学生時代はどんな 学生でしたか?

不勉強だった高校時代から気持ちを入れ替え、大学入学後は常に勤勉であることを心掛けていました。授業だけでは物足りず、空き時間は図書館で専門書を読みあさる日々。理系学部の数学の授業も聴講していました。成績も良好で、「不可って何?おいしいの?」という学生でした。

大学時代、お腹を満たしてくれた牡丹亭の「台湾ラーメン」



〔 西南学院の財政について（2024年度決算[学院全体]） 〕

本学院をはじめ私学振興助成法により補助金の交付を受ける学校法人は、学校法人会計基準の定めに従い会計処理を行い、計算書類を作成する必要があります。ここでは、事業活動収支計算書と貸借対照表についてその概要をご報告いたします。詳細については、学院ホームページをご覧ください。

常任理事 大羽 康二

事業活動収支計算書（2024年4月1日から2025年3月31日まで）

（単位:百万円）

科 目		予 算	決 算	差 異	
教育活動収支	収入	学生生徒等納付金	10,148	10,139	8
		手数料	450	505	△ 55
		寄付金	86	91	△ 5
		経常費等補助金	2,013	2,021	△ 8
		付随事業収入	304	317	△ 13
		雑収入	340	397	△ 57
	支出	教育活動収入計	13,341	13,470	△ 129
		人件費	7,649	7,650	△ 1
		教育研究経費	4,378	4,076	301
		(内、減価償却額)	1,207	1,203	4
		管理経費	798	698	100
		(内、減価償却額)	136	134	1
徴収不能額等		0	0	0	
教育活動支出計		12,826	12,425	401	
教育活動外収支	収入	教育活動収支差額	515	1,045	△ 530
		受取利息・配当金	183	193	△ 10
	支出	その他の教育活動外収入	0	0	0
		教育活動外収入計	183	193	△ 10
		借入金等利息	0	0	0
		その他の教育活動外支出	0	0	0
		教育活動外支出計	0	0	0
特別収支	収入	教育活動外収支差額	183	193	△ 10
		経常収支差額	698	1,238	△ 539
	支出	資産売却差額	0	0	△ 0
		その他の特別収入	45	74	△ 29
		特別収入計	45	75	△ 29
		資産処分差額	2	6	△ 4
		その他の特別支出	0	0	0
		特別支出計	2	6	△ 4
		特別収支差額	44	69	△ 25
		予備費	84		84
参考	事業活動収入計	基本金組入前当年度収支差額	658	1,307	△ 648
		事業活動支出計	12,911	12,431	480
		基本金組入額合計	△ 789	△ 712	△ 78
		当年度収支差額	△ 131	595	△ 726
		前年度繰越収支差額	△ 1,630	△ 1,630	0
		基本金取崩額	37	78	△ 42
翌年度繰越収支差額		△ 1,724	△ 956	△ 768	

事業活動収支計算書は、当該年度の「教育活動」「教育活動以外の経常的な活動」「その他の活動」に対応する事業活動収入および事業活動支出の内容を明らかにするとともに、収支の均衡状態を示すものです。

教育活動収入においては、2020年度から開始された高等教育の修学支援制度では、経常費等補助金に5.1億円を受け入れて授業料減免を行いました。

教育活動支出では、昨今の物価高騰に伴い、物品購入費や水道光熱費等の値上がりにより、対前年比では支出額が増加したものの各部署において予算を執行する際に経費の削減に努めた結果、予算残が発生し、予算比で4.0億円少なくなりました。

人件費は76.5億円であり、経常収入に対する割合は56.0%と、全国平均（同系統法人平均）52.4%より高い割合を占めています。教育研究経費は前年度より0.5億円増加し、経常収入に対する割合は29.8%で、全国平均（同系統法人平均）34.6%より低い割合となっています。

事業活動収入は、前年度より3.8億円増加し、予算比で1.6億円多くなっています。事業活動支出は、前年度より0.6億円減少し、予算比で4.8億円少なくなりました。この結果、基本金組入前当年度収支差額は予算より6.4億円改善され、13.0億円となりました。事業活動収入に対する基本金組入前当年度収支差額の比率を示す事業活動収支差額比率は9.5%です。

基本金については、第1号基本金では、大学SAINS24システム機器、田尻GF人工芝更新等、中学校・高等学校液晶プロジェクター、小学校体育館天井工事、幼稚園エアコン、保育所給食ワゴンと、備品総合償却等を部門別に相殺し、基本金の組入れ0.4億円と取崩し0.7億円を計上しています。第2号基本金の組入れは、西南会館、学術研究所、新講義棟建築のための3.5億円及び中学校・高等学校校舎改築資金1.0億円です。第3号基本金の組入れは、大学奨学基金、中学校・高等学校奨学基金の2.0億円です。第4号基本金の組入れは、恒常的に保持すべき資金として0.2億円です。

基本金組入後の当年度収支差額は、予算より7.2億円好転し、5.9億円の収入超過となりました。当年度収支差額に前年度繰越収支差額、基本金取崩額を加えた翌年度繰越収支差額は9.5億円の支出超過となっています。

貸借対照表は、年度末における学校法人の財政状態を示しています。

当年度末の資産の部合計は779.3億円で前年度より19.4億円増加、負債の部合計は65.9億円で前年度より6.3億円増加しました。その結果、純資産の部は前年度より13.0億円増加して713.3億円となりました。

資産の部合計の内訳は、固定資産では、有形固定資産が424.1億円、各種引当資産である特定資産が138.5億円、有価証券等を含むその他の固定資産が119.1億円です。流動資産では、現金預金93.2億円を含めて97.4億円となっています。なお、2009年度末以降、借入金はありません。

財務状況の概要について詳しくはこちらから



EVENT

〔 西南学院大学 第76回大学祭について 〕

統一テーマ せい か こう てん 星火煌天 -輝きの輪を広げて-

11月6日(木)～11月9日(日)に大学祭を実施します！

模擬店や教室企画、ステージ企画など盛り上がる企画がたくさんありますので、ぜひご来場ください！

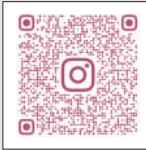
詳しい情報については大学祭公式SNSをご覧ください。

お問い合わせ先

西南学院大学
第76回大学祭実行委員会公式SNS



X (旧Twitter)



Instagram



大学祭HP



EVENT

＼ 2025年度後期 公開講座 ／

〔 「西南コミュニティカレッジ」のご案内 〕

西南学院大学の知的財産などを広く社会に還元する目的で、公開講座「西南コミュニティカレッジ」を実施しています。

以下の講座は、本学の学生、専任・常勤教職員は**無料で受講**できます。ただし、定員に制限があります。

〔 提供 〕国際文化学部

「働く」とは何かを考える

Ⅰ 開講方式：対面

Ⅱ 開催期間：11月20日(木)～12月11日(木) 18:30～20:00(全4回)

Ⅲ 各回内容

第 1 回 11月20日(木)	就活の文化-日本と西アフリカの比較から考える 伊東 未来(国際文化学部准教授)
第 2 回 11月27日(木)	文豪の仕事論-夏目漱石にとって「働く」とは何か 西村 将洋(国際文化学部教授)
第 3 回 12月4日(木)	日本人移民と労働-アメリカへ渡ったからゆきさんの経験 大原 関 一浩(国際文化学部准教授)
第 4 回 12月11日(木)	新しい「アレオバゴス」で愛を告げる -教皇レオ13世に始まるカトリック教会の社会教説について 西脇 純(国際文化学部教授)



各講座についての詳細および申込み方法については、大学ホームページでご確認ください。



西南学院大学 生涯学習

検索

お問い合わせ

総合企画部 社会連携課

[TEL]092-823-3952(平日9時～17時)

[E-mail]sw-ext@seinan-gu.ac.jp

BOOK

〔 本学教授の新著 〕

『住居の賃貸借の終了と利益の比較衡量－ドイツ裁判例研究からの模索－』

たなか えいし

田中 英司 / 著 法学部法律学科教授

● 2025年4月17日 日本評論社 税込価格11,000円 698頁

本書は、わが国の居住を目的とする借家権に対応するドイツの住居使用賃借権を対象とする筆者の包括的な比較裁判例研究の第4作目にあたるが、住居使用賃借権の存続保護という法領域に関して、「二重の存続保護」の第2段階であるところのBGB574条における賃借人

にとつての「苛酷さ」の認否をめぐる裁判例を包括的に考察することによって、賃借人にとつての「苛酷さ」をめぐる住居使用賃貸借関係の解約告知に関する裁判例の判断枠組みを明らかにするとともに、日本法への示唆を得ようとするものである。



ドイツの
裁判例の蓄積を
みてみたい人に